

三次看護専門学校 授業要項

科目	心理学			担当講師	吉本 早苗
学科名	学 年	クラス	単位(時間数)	授業の種類	開 始 時 期
第二看護学科	1年		1(30)	講義	令和8年度前期
科目目標 看護の対象である人間の心の動き，行動のメカニズムについて理解する。					
授業概要 この科目は，専門基礎分野，専門分野の基礎となる科目であり，看護の対象である人間を心の側面から理解する科目である。特に人間を相手に行われる看護の実践においては，良好な対人関係を構築し，相手の反応や行動にどんなところの動きや意味があるのかを理解し，関わる必要がある。そのための基礎知識として，人間のこころのとらえ方や発達，学習，適応，記憶，感情などの心理について理解を深める。					
回数	時間数	内 容	回数	時間数	内 容
1	2	1. 心理学とは	9	2	9. 性格
2	2	2. 知覚	10	2	10. 発達
3	2	3. 注意	11	2	11. 社会
4	2	4. 記憶	12	2	12. 感情
5	2	5. 学習	13	2	13. 意識
6	2	6. 思考	14	2	心理的援助
7	2	7. 言語	15	2	医療・看護と心理
8	2	8. 知能	【テキスト・参考書】 系統看護学講座 心理学，医学書院 【成績評価の方法】 ☒ 筆記試験		

三次看護専門学校 授業要項

科 目		倫理と哲学			担当講師名		古賀 直樹				
学科名		学年	クラス	時間数	開 始 時 期						
第二看護学科		2年	A	1単位 15時間	令和8年度前期						
科目目標・単元目標											
現代の医療では技術の発展や社会の変化とともに、人間の生病老死に関して、またそれらに対する私たちの思考・感情・価値に関してとても複雑で難しい問題が提起されている。このような問題を整理し、さまざまな角度から検討するための道具あるいは教養として哲学を学ぶことが授業の目標である。											
授業概要											
とにかく難解に感じられる哲学であるが、学生の皆さんは哲学を理解するだけでなく、自らが具体的に哲学することを求めたい。授業では前半に生命倫理に関する問題、後半に人生に関する問題を取り上げる。各回ごとにテキストとレジュメを用いた報告、議論、当日レポートの作成を行う。講義などの説明はそれらを補助するためのものと位置づける。											
回数		時間数		内 容		回数		時間数		内 容	
1		2	〔1〕オリエンテーション ～授業内容と進め方の説明			6		2	9章「日本における尊厳死と終末医療のガイドライン」		
			〔2〕生命倫理の問題を考える ～香川知晶『命は誰のものか』（増補改訂版）を読む						10章「社会保障制度改革とACP」		
2		2	報告担当グループ決定 報告・説明・議論 当日レポートの作成			7		2	11章「脳死と臓器移植」		
			1章「医療資源配分の問題」						12章「臓器不足をめぐる問題」		
3		2	2章「パンデミックとコロナウィルス・トリアージ」			8		1	13章「医療技術の進歩と人間の生命」		
			3章「障がい新生児の治療停止」			試験			レポート試験		
4		2	4章「出生前診断と選択的中絶」			テキスト・参考書			『命は誰のものか』（増補改訂版）、香川知晶著（ディスカヴァー・トゥエンティワン、2021）		
			6章「命の選択と優生思想」								
5		2	7章「代理出産と生殖技術の展開」			成績評価の方法			☒ 授業態度 ☒ レポート試験 ☐ 実技試験		
			8章「死ぬ権利の法制化」								

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目	社会学			担当講師名	江頭 大藏
学科名	学年	クラス	時間数	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	1		30	講義	令和8年度前期
科目目標・単元目標 社会的存在としての人間を理解するために人間の社会的行為、社会集団、社会構造、社会の変遷、個人と集団について多面的に理解する。					
授業概要 「福祉」をテーマにした社会学の議論の紹介と検討を通して、社会学の考え方、ならびに、現代社会の諸側面について理解を深めることを目指す。					
回数	時間数	内 容	回数	時間数	内 容
1	2	1. 社会学の視点、福祉社会学入門	11	2	11. 当事者運動をめぐる社会学の研究例
2	2	2. 高齢社会と高齢者の生活	12	2	12. 終末期医療・介護に関する社会学の研究例①
3	2	3. 高齢社会と高齢者の生活	13	2	13. 終末期医療・介護に関する社会学の研究例②
4	2	4. 女性のライフコース	14	2	14. 遺族ケアに関する社会学の研究例①
5	2	5. 少子化と子育て支援	15	2	15. 遺族ケアに関する社会学の研究例②
6	2	6. 子どもの貧困と支援	16		試験
7	2	7. 若者の抱える困難と支援	テキスト・参考書 吉武由彩編「入門・福祉社会学 - 現代的課題との関わりで」学文社 2023年		
8	2	8. 性的マイノリティの困難と支援			
9	2	9. 病い・障害当事者の困難と支援	成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験		
10	2	10. 福祉社会の形成とボランティア活動			

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		教育学			担当講師名		山本 一輝	
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期			
第二看護学科		1		30	令和8年度後期			
科目目標・単元目標 患者・家族への保健指導や、後輩・学生への指導に必要な教育的な考え方の基礎を身に付けることには重要な意義をもつ。また、看護の分野における実践者は、その対象者に対し、療養上の世話や説明を行うだけでなく、その人が自分らしく健康に生活できるように支援するという教育的な役割を担う。故に、教育学上の基礎的な知識を身につけ、その知識を基盤として、教育的な考え方をより深く理解することを本講義の目標とする。								
授業概要 まず、教育学を特徴づける主要な概念を学び、現代の教育をめぐる様々な問題を批判的に捉えるために必要な視点を講義形式で提供する。そのような視点をもとに、具体的なケースや実践上のジレンマなどを例として、議論形式でその理解を深める。また、講義後のコミュニケーションペーパーと最終試験によって、その定着を図る。								
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容
1		2	第一回 インTRODakション (①自己紹介、②講義内容の説明、 ③看護学生が教育学を学ぶ理由について)		11		2	第十一回 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育1 (①前回の振り返り、②ニーズとインクルーシという語、③障害個性論、発達保障論、共生共学論)
2		2	第二回 社会の中の看護と教育 (①前回の振り返り、②社会・文化・人間形成、③機能化された社会における教育と看護、④新しい世代をつくりあげるしくみ、⑤議論)		12		2	第十二回 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育2 (①前回の振り返り、②教育における問題、③「障害」の発見と急増、④議論)
3		2	第三回 教育の対象 (①前回の振り返り、②体罰について、③人間形成としての「教育」ー「形成」と「教化」、④「教育」の対象としての子ども、⑤議論ー体罰から考える。)		13		2	第十三回 教職の専門職化 (①前回の振り返り、②教員を取り巻く課題、③求められる専門職性、④職業的アイデンティティ)
4		2	第四回 人間の発達と教育 (①前回の振り返り、②発達とはなにか、③ピアジェの発達理論、④その他の発達理論)		14		2	第十四回 多文化教育 (①前回の振り返り、②文化とはなにか、③エスノセントリズムとアンコンシャス・バイアス、④日本の現状と課題、⑤議論)
5		2	第五回 教授と訓育 (①前回の振り返り、②看護との比較、③教える一学ぶの関係、④子どもたちの生きづらさ、⑤教授と訓育について)		15		2	第十五回 教育における「わざ」 (①前回の振り返り、②言葉で教えることの難しさ、③「教える」の可能性、④、⑤議論)
6		2	第六回 ケアという関係について (①前回の振り返り、②学校における養護の役割、③養護の機能について、④ノディングスのケアに関して、⑤非対称的な関係について)					
7		2	第七回 近代学校教育制度の歴史 (①前回の振り返り、②学校の成り立ち、③学校の役割、④アイデンティティと逸脱に関して、⑤議論)		テキスト・参考書 系統看護学講座 基礎分野 教育学 2024 医学書院			
8		2	第八回 学校の限界と特別支援教育 (①前回の振り返り、②近代学校の限界、③特別支援教育の成り立ち、④「特別」について考える)					
9		2	第九回 ジェンダーと教育 (①前回の振り返り、②ジェンダー、セクシュアリティについて、③用語の区分、④ジェンダーと教育の課題)		成績評価の方法 ■ 筆記試験 ■ 受講状況 ■ レポート試験 □ 実技試験			
10		2	第十回 セクシュアリティと教育 (①前回の振り返り、②偏見・差別の払拭、③ジェンダーの限界、④議論)					

※1回は90分(2時間)です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		人間関係論			担当講師名		桑本 真梨子		
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期				
第二看護学科		1		30	令和8年度前期				
科目目標・単元目標 人間関係を構成する自己と他者のとらえ方を理解し、人間関係をつくる理論と技法について身につける。									
授業概要 人間関係の根底から、関係構築の要素・関係性が壊れる要因など理論を学ぶ。 その後カウンセリング・コーチング・アサーションのテクニックを実務レベルで活用できるように教授する。									
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容	
1		2	イントロダクション 人間関係論とは 人間の発達		11		2	第2回 レポート課題 来談者中心療法 認知行動療法について	
2		2	自己と他者 自己概念・他者評価		12		2	コーチング	
3		2	対人関係・集団について		13		2	アサーティブコミュニケーション	
4		2	対人コミュニケーション		14		2	アサーティブコミュニケーション	
5		2	集団でのコミュニケーション		15		2	第3回 レポート課題 コーチング・アサーティブ コミュニケーション	
6		2	第1回 レポート課題						
7		2	カウンセリングとは		テキスト・参考書 人間関係論 医学書院				
8		2	カウンセリング 来談者中心療法＋（ケース）						
9		2	カウンセリング 認知行動療法		成績評価の方法 ☐ 筆記試験 ☒ レポート試験 ☐ 実技試験				
10		2	カウンセリング 認知行動療法（ケース）						

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間内でレポート課題です。締め切りについては指示をします。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		外国語			担当講師名	マイケル ホルム
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期	
第二看護学科		2		15	令和8年度前期	
科目目標・単元目標 英語の基礎的な専門用語を理解し、医療会話表現を学ぶ。						
授業概要 医療場面において、平易な英語表現を用いてコミュニケーションが取れるよう学習する。						
回数	内 容			回数	内 容	
1	unit5			11		
2	unit5 unit6			12		
3	unit6 unit7			13		
4	unit7			14		
5	unit7 unit8			15		
6	unit8 unit9				試験	
7	unit9 unit10			テキスト・参考書 クリスティーンのやさしい英会話		
8	unit10 unit11 unit12					
9				成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験		
10						

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。